

No.217(一九八四年一月一・二日合併号)から  
No.251(一九八四年二月二一日)まで

No.217(一九八四年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇

社会党にはよい結果、だが反省課題も

抵抗こそ階級闘争の原点岩井章

確実に前進している同志たちとともに闘う

灰原茂雄

賃金も福祉も切り下げる

―一九八四年春闘への独占資本の構え―

十二月総選挙総括への基本視点

反ソ歪曲情報とINF問題を論ず

戦争を挑発するレーガンの世界戦略

―世界情勢の特徴について―

◇書評◇「資本論」と私

理論は実践になる！

◇語録◇読者からのたより

好評発売中！岩下武夫著(社会通信社刊)

「ソ連脅威論」の虚構B6版二百頁

No.218(一九八四年一月二一日)

◇巻頭言◇石橋委員長に望む

保・保連合で伯仲から一転保守安定へ

―軍拡・行革・増税路線との

徹底的な対決を！―

◇私の労働運動再構築論◇

塊(かい)より始めよ！

社会党は戦略戦術をとぎすませ

沖電気闘争をふり返って

―日常闘争の不足を痛感―

◇激動する中東①◇PLOの内紛とその背景

INF配備後も関係の安定を願うDDR

資料

全国一般第三五回臨時大会への左派の立場

我々は表明する

◇語録◇編集後記

一九八四年年頭にあたって

No.219(一九八四年二月一日)

「春闘再構築初年度」のたたかい一九八四年国民春闘の意味するもの―  
帝国主義と非武装中立

「参加」を強調する同盟運動方針

資料

社会主義協会「一月一五日の会」アピール

◇激動する中東②◇レバノン内戦の真因は帝国主義国の介入

◇読者からのたより◇編集部のおしらせ

◇編集部だより

好評発売中！岩下武夫著(社会通信社刊)

「ソ連脅威論」の虚構B6版二百頁

No.220(一九八四年二月一日)

◇巻頭言◇「違憲・合法論」への疑問

見せかけ「減税」と見返りの大衆増税 一九八四年度予算案批判①―  
生産性基準原理を土台に教育、政治に言及  
一九八四年版

「労働問題研究委報告」の特徴―

三池炭鉱有明坑内火災

―労働者虐殺の背景と真実―

燃えた労働者

―総選挙闘争・千葉一区のたたかい―

朝鮮問題の見方―階級的視点から―

No.221(一九八四年二月二日)

◇巻頭言◇マス・コミ流「現実性」とは？

支離滅裂な「社会主義の構想」の「解説」

―あまりにもお粗末な「学習テキスト」―

◇資料と解説◇

「違憲・合法論」と社会党の任務

資料1「違憲・合法論」についての香川県本部の意見書

資料2「違憲・合法論」についての高松総支部の意見書

資料3

原発問題についての社会党・総評の確認

勤労階級の「安全保障」を犠牲にした

独占の「総合安保」予算

―一九八四年度政府予算案批判②―

春闘再生に全力を集中

―第一七回青年団結集会運動の役割と課題

好評発売中！岩下武夫著(社会通信社刊)

「ソ連脅威論」の虚構B6版二百頁

No.222(一九八四年三月一日)

◇巻頭言◇社会党の政策立案能力とは  
社会党運動方針案を読んで

「反ソ」論でブルジョア・マスコミに追隨  
—支離滅裂な「社会主義の構想」の解説②◇私の労働運動再構築論◇  
いまからでも遅くはない

全民労協主軸から官民一体春闘へ —私鉄総連の春闘方針の特徴—

◇資料と解説◇東京労研センターが発足

資料1「東京労研センター」結成趣意書

資料2「東京労研センター」結成アピール

◇投稿◇読者からのたより

好評発売中！岩下武夫著（社会通信社刊）

「ソ連脅威論」の虚構 B 6 版二百頁

No.223(一九八四年三月一日)

◇巻頭言◇「反独占の整合性」

無限につづく無責任路線 —支離滅裂な「社会主義の構想」の解説③

今年の春闘は今までとちがう

—総評臨時大会報告—

国労原則を学び、階級闘争の再強化を！

全通「五九・二」合理化の怒りを

春闘再構築へ

私鉄創意・工夫にみちた日常闘争の展開を

自治労職場実態から敵の弱点を追及

好評発売中！岩下武夫著（社会通信社刊）

「ソ連脅威論」の虚構 B 6 版二百頁

No.224(一九八四年三月二一日)

◇巻頭言◇古くして新しい問題

本部分針と党員の認識に大きな違い

—社会党第四八回大会の報告—

決定的な「体制の違い」は何か

—支離滅裂な「社会主義の構想」の解説④

◇富山・農協労の仲間からの報告◇

生き続け、働き続けるために闘いぬく

私たちの職場実態と一九八四春闘への決意

時が新しい革命アフガニスタンに味方する

—伊共産党中央委への

アフガニスタン人民民主党的の公開書簡

好評発売中！岩下武夫著（社会通信社刊）

「ソ連脅威論」の虚構 B 6 版二百頁

No.225(一九八四年四月一日)

◇巻頭言◇土と油と汗の匂とみどりの風

一九八四春闘をいかにたたかうか岩井章

間違いの生活実態認識の上に立つ ―支離滅裂な「社会主義の構想」の解説⑤

レーガン流「対話・平和攻勢」 ―言行は不一致、レーガン危うし!―

発展途上国の債務問題への視点①

◇全通の仲間からの報告◇ 全通組織をわれらのものに

好評発売中!岩下武夫著(社会通信社刊)

「ソ連脅威論」の虚構B6版二百頁

No.226(一九八四年四月一日)

◇巻頭言◇ 私鉄よリチャレンジ精神”を發揮せよ

”教育臨調”に反撃を

「マルクス主義との絶縁」論を排する

―『中央公論』四月号、石川論文を切る―

すべての人間を収奪したら

搾取の廃絶は不可能 ―支離滅裂な「社会主義の構想」の解説⑥

「着眼大局」「着手小局」に

対抗する組織づくりを

―東京駅問題から考えること―

資料東京駅分会家宅搜索への「抗議声明」

IMFをつうじて途上国を搾取

―発展途上国の債務累積問題への視点②―

◇私の一九八四春闘方針◇仲間の声を要求に

好評発売中!岩下武夫著(社会通信社刊)

「ソ連脅威論」の虚構B6版二百頁

No.227(一九八四年四月二一日)

◇巻頭言◇「スケジュール闘争」

◇職場の資本論学習会①国労東建工◇

『資本論』―巻読破まであと一歩

春闘再構築への一基調

一九八四春闘をめぐる情勢②岩井章―

労働の二重性を考える

―「発想の転換」で

労働運動の再生は可能か?―

「首切りを迎えよう組織づくり」へ―歩前進

―第一七回全国青年団結集会の報告―

好評発売中!岩下武夫著(社会通信社刊)

「ソ連脅威論」の虚構B6版二百頁

No.228(一九八四年五月一日)

◇巻頭言◇労働者意識奪う「小集団活動」

◇職場の資本論学習会②資本論研究会と私◇

『資本論』を楽しむ

われわれは何をなすべきか

「参加」は自殺行為 ― 小集団活動への基本視点① ―

メーデーが変わる！

レーガンの国家テロリズム ― ニカラグア革命圧殺を意図 ―

読者からのおたより

好評発売中！岩下武夫著（社会通信社刊）

「ソ連脅威論」の虚構 B 6 版二百頁定価千円（送料二百円）

No.229(一九八四年五月一日)

◇巻頭言◇「不満」ならストライキでたたかえ

マルクスの理論的遺産の意義に

かんするレーニン

闘争方針をつくり、労働運動再生へ！ ― 八四春闘への総括視点 ―

能力主義管理体制とのたたかい ― 労働運動の現段階とたたかひの課題 ―

ブルジョア独裁は「参加」をとおして機能 ― 小集団「活動」を考える② ―

◇語録◇編集部だより

岩下武夫著（社会通信社刊）好評発売中！「ソ連脅威論」の虚構

B 6 版二百頁定価千円（送料二百円）

No.230(一九八四年五月二一日)

◇巻頭言◇野党は連合幻想を捨てよ

レーニンと帝国主義論 ― マルクスの理論的遺産の意義に

関するレーニン② ―

私鉄・京成労組つぶしの攻撃

― 三活動家に懲戒処分 ―

たたかう組織づくりが緊急課題

― 小集団「活動」を考える③ ―

南部アフリカの新しい情勢

資料キューバ・アンゴラ共同宣言

私鉄・東武は反対の態度

◇投稿◇向坂先生の言葉を座右の銘に

◇読者からのおたより◇編集部だより

岩下武夫著（社会通信社刊）

好評発売中！「ソ連脅威論」の虚構 B 6 版二百頁定価千円（送料二百円）

No.231(一九八四年六月一日)

巻頭言◇ヨーロッパで進む体制的合理化の嵐

社会変革の防止がねらい ― 政党法の本質と背景① ―

行革・総合安保戦略に抗する総反撃を ― 大平の遺産『近代を超えて』にふれて①

◇資料と解説◇ ソ連のロスアンゼルス五輪不参加決定の背景

資料1 ソ連五輪委員会「五月八日」の声明

資料2 ソ連五輪委員会「四月九日」の声明

協定は生きている ― スタンの仲間のたたかいから ―

配転・首切り合理化をめぐる情勢①

◇編集部だより ◇読者からのたより

各単産定期大会日程

No.232(一九八四年六月一日)

ニカラグアとレーガン

第二組合員も「たたかい」を求める ― プリマハム労組の仲間からの報告 ―

政党法のたくらみと社会党の課題 ― 政党法の本質と背景(下) ―

方針をつくり、自覚的にたたかう ― 「行革」「総合安保戦略」

に抗する総反撃を②

配転・首切り合理化をめぐる情勢②

サイは投げられた!

― 国鉄当局、六〇・三合理化計画を提案 ―

岩下武夫著(社会通信社刊)

好評発売中! 「ソ連脅威論」の虚構

B6版二百頁定価千円(送料二百円)

No.233(一九八四年六月二一日)

◇巻頭言◇二つの大会

われわれに甘えはないか

― 八四春闘総括の基本視点①

◇資料と解説◇ 国鉄「合理化」に民間手法が導入

資料①昭和五九年度要員計画について

「反対」の意志表示こそが社会党の任務

― 「全斗換来日」に対する

社会党の「態度」について ―

資料②全斗換大統領の訪日について

中曽根・レーガン訪中と中国の対外路線

読者からのおたより

岩下武夫著(社会通信社刊) 好評発売中! 「ソ連脅威論」の虚構

B6版二百頁定価千円(送料二百円)

No.234(一九八四年七月一日)

◇巻頭言◇中米情勢に新たな動き

資本主義に刃向う統一闘争を準備しよう―総評・国労の官民総行動の教訓―  
指導部の「動揺」とわれわれの任務―一九八四春闘総括の基本視点②―  
ヨーロッパ労働運動に新たな動き

◇資料と解説◇労研センターが第二回総会

資料1 労研センター―一九八四年度活動方針

資料2 労研センター第二回総会アピール

新刊紹介『道』の擁護と『社会主義の構想』批判

好評発売中！岩下武夫著（社会通信社刊） 「ソ連脅威論」の虚構

B 6 版二百頁定価千円（送料二百円）

No.235(一九八四年七月一日)

自由と動揺―望まれる自覚

国鉄合理化と労働者階級の状態①―「過員」もひどいが  
残った「職場」もひどさは同じ―

発展するチュチエの国・朝鮮岩井章

一九八四年度組合大会の課題と焦点

電機労連全労協の主導権争いに名乗り

私鉄総連「集中決戦方式」は今後も続ける

国労民間手法導入で職場に怒り

全労協原発推進をはじめて言及

資料1 私鉄総連の労戦「統一」方針

資料2 原発問題についての全労協の政策

No.236(一九八四年七月二一日)

◇巻頭言◇トマホークと日本

教育労働者と「教育荒廃」

◇激動する中東③◇

イラン・イラク戦争と中東の危機

労戦再編成の現段階と官公労運動

国鉄「合理化」と日本労働運動

指導部の態度が問われている

―国鉄合理化と労働者階級の状態②―

「構想」を焼却しよう

読者からのおたより

好評発売中！岩下武夫著（社会通信社刊）

「ソ連脅威論」の虚構

B 6 版二百頁定価千円（送料二百円）

No.237(一九八四年八月一日)

◇巻頭言◇科学的社会主義こそ社会党の魂

◇資料と解説◇

総評三顧問が「総評再生の綱領的文書」を発表

資料①総評再生をめざす、全国のすべての活動家への呼びかけ

「男女雇用機会均等法案」の周辺①

国会傍聴の記

高まる国際金融不安―途上国債務問題の新たな展開―

◇一九八四年組合大会の焦点◇

総評「反行革」でたたかう部隊を結集せよ

全電通今大会では電々改革問題に集中

全通「五九・二」総括が大会の焦点

資料②余剰人員の調整策について(国鉄)

資料③国鉄労働組合の抗議声明

No.238(一九八四年八月一日)

「ニュー社会党」「構想」をめぐる思想状況

◇林大鳳氏を悼む◇

日本労働運動の機関車を失った

「男女雇用機会均等法案」の周辺②

政府案は日本の女の恥

「臨教審」「労戦」で白熱した討論―日教組第六〇回大会の報告―

この一〇年間を総括し、展望が明らかに―全電通反合研総会から―

好評発売中!岩下武夫著(社会通信社刊)「ソ連脅威論」の虚構

B6版二百頁定価千円(送料二百円)

No.239(一九八四年八月二一日)

◇巻頭言◇思想闘争のすすめ①

『構想』の道は「改革」である!?!―討論集会における森永中執―

「制度政策」路線の破綻明確に―全通第三八回全国大会―

沈黙は組合員のためにならず―私鉄総連第四九回大会報告―

「歴史的大会」は「低調」な大会へ

―全電通第三七回大会報告―

資料総評再生をめざす呼びかけ②

イギリスの千里眼作家の悪い冗談

―ジョージ・オーウェルと現代―

コメコン諸国の経済成長◇編集部だより



No.240(一九八四年九月一日)

◇巻頭言◇思想闘争のすすめ②

「自壊の道」をさらに加速

―総評第七一回大会報告―

新たな段階に入った中米情勢①

「ヤルしかない！」の必然性①

―日常闘争に工夫をつくせ―

広島・を忘れるな！

好評発売中！岩下武夫著(社会通信社刊)

「ソ連脅威論」の虚構 B 6 版二百頁定価千円(送料二百円)

No.241(一九八四年九月一日)

◇巻頭言◇石橋委員長に重ねて望む

労働運動の弱さと資本の高姿勢

―日経連トップセミナーでの会長あいさつ

「男女雇用機会均等法案」の周辺③

男女差別はまず「入口」で

新たな段階に入った中米情勢

書評『小集団管理―批判どたたかい』

総評の再生は「小集団管理」の克服から

現場は元気いっぱいだ！―全林野大会報告―

国労大会をめぐる情勢と課題

読者からのたより

No.242(一九八四年九月二一日)

特集・国労第四六回大会

◇巻頭言◇「ニュー社会党」の一年

「ここがロードス島だ。さあ跳べ」

―国労第四六回大会報告―

勝つための二つのポイント岩井章

チェーホフと国鉄労働者庄司永建

本部は現場を信頼せよ渡部代議員

闘いなくして安全なし奈良岡代議員

歴史的な伊東大会に責任を痛感

新藤代議員

DDRと西ドイツの関係についての

帝国主義・マスキミの妄想

「男女雇用機会均等法」の周辺④

罰則なくして効果なし◇編集部だより

No.243(一九八四年一〇月一日)

◇巻頭言◇米・日・「韓」軍事一体化を促進  
科学的「思想」を恐れる支配者―労働者の「抵抗」はさけられない―  
あまりのお粗末さ、プチブルの内容にアゼン ―東京における「構想」討論会―  
運動は生きもの―独善主義を排せ ―原水爆禁止世界大会から―  
「カウボーイ」レーガンの論理 ―米共和党の選挙綱領について―  
責任と無責任―世界政治で対立する二つの方針―  
語録

好評発売中！岩下武夫著（社会通信社刊）「ソ連脅威論」の虚構  
B 6版二百頁定価千円（送料二百円）

No.244(一九八四年一〇月二一日)

◇巻頭言◇学問のすすめ  
失業と「過員」闘争―失業問題を考える①  
第一インターナショナルと現代 ―第一インターナショナル創立百二十周年  
「危険な段階」に達した日「韓」関係  
「改憲」を日程にのせる(？)自民党  
―田中ロッキード被告発言の意味―  
中曽根内閣支持率の背景  
◇読者からのたより◇語録◇編集部だより  
好評発売中！岩下武夫著（社会通信社刊）「ソ連脅威論」の虚構  
B 6版二百頁定価千円（送料二百円）

No.245(一九八四年一〇月二一日)

◇巻頭言◇経済学のすすめ  
社青同第二〇回大会の意義と任務  
連合体移行問題が焦点に  
―J.C・同盟系労組の大会の特徴―  
石橋訪朝団の成果と今後  
剰余価値と「自働化」  
―トヨタ自動車の素顔―

◇資料と解説◇  
反労働者のな時代錯誤の報告  
―労基法研究会「中間報告」について―  
資料労基法研究会「中間報告」(要旨)  
語録

◇パンフレットご購入のすすめ◇  
『たたかいの条件』(三多摩労運研究資料)

No.246(一九八四年一月一日)

資料研究会二年間の総括とこれからの課題  
三多摩労働運動研究会研究資料

「たたかいの条件No.2」

「行革」への危機感を反映―総評拡大評議員会と総評運動―

◇資料と解説◇

連合体移行に「組織機構検討委員会」を設置

資料全民労協第三回総会活動方針

「解放の神学」と中南米

語録

好評発売中！岩下武夫著（社会通信社刊）

「ソ連脅威論」の虚構 B6版二百頁定価千円（送料二百円）

No.247(一九八四年一月一日)

◇巻頭言◇

日ソ対話再開といわゆる「北方領土」

国際金融危機の現段階

― IMF総会と今後の動向―

政府と農協のペテンと農民

自治労つぶしの「地方行革」

を現場から阻止しよう

◇投稿◇「大先生」のマルクス理解

◇語録◇読者からのたより◇編集部だより

好評発売中！岩下武夫著（社会通信社刊）

「ソ連脅威論」の虚構 B6版二百頁定価千円（送料二百円）

No.248(一九八四年一月二一日)

◇巻頭言◇新生ニカラグアの大勝利

大内力氏すらも批判

―「構想」における「社会主義」―

「中流意識」宣伝の崩壊

◇投稿◇社会党右傾化阻止に全力を

岩井氏が「国鉄を支援する国民共闘会議」

を提唱

―「労研センター」京都集会報告―

情報収集のために乗客を見殺し

―KAL機事件から一年―

◇語録◇編集部だより

No.249(一九八四年二月一日)

◇巻頭言◇中米危機―その真因  
たたかう方向を堅持 ―国労第一四二回中央委を傍聴して―  
国鉄闘争は全労働者の課題 ―反行革・国鉄闘争前進のために①  
動労よ、どこへ行く? ―首切り「三項目」問題をめぐって―  
アフリカの飢餓と独占体  
ソウルの「暑い秋」  
グレナダ侵攻から一年  
君は悪魔の火を見たか ―現代原発問答―  
編集部だより

No.250(一九八四年二月一日)

◇巻頭言◇自民の「改憲」攻撃に備えよ  
宇宙開発は警告する!  
現情勢と日常闘争の課題  
全労協総会は何を決めたのか  
動揺から墮落へ  
ニカラグア侵攻の口実をさがすレーガン  
日本労働運動の再生を求めて ―神奈川「国際労研」支部が発足―  
◇資料と解説◇  
「労研センター」が「国鉄労働者と  
連帯する共闘会議」をよびかけ  
「除隊運動」||「過員」の背景 ―反行革・国鉄労働運動発展のために②―  
レーガン再選後のアメリカ  
読者からのおたより

No.251(一九八四年二月二日)

◇巻頭言◇社会党員拡大への道  
原発反対はなぜ消されようとしたか ―われわれは宣戦布告する―  
社会党全国大会の課題について ―科学的社会主義の否定を許さない―  
◇投稿◇時代遅れの「参加・介入」路線  
―通用せぬ「八〇年代路線」の認識―  
社青同運動は自分の生き方 ―第二〇回定期全国大会の報告―  
森永事件と『資本論』  
―問われる総評労働運動の質―  
経済改革に取り組む中国  
―本格的な社会主義建設へ―  
読者からのおたより